

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	消防用ホースハンガーリフト使用中に隊員が受傷した事案
3. 体験した事例の中心的要素	訓練終了後、消防用ホースを乾燥させるために、消防用ホースハンガーリフトにホースを吊るし上昇させたところ、ドラムシーブローラーを収納しているボックスと地面の間にメス金具が挟まり、上昇を続けたことでメス金具が跳ね上がり、隊員の右示指に接触し負傷したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	消防用ホースハンガーリフトを操作するコントローラーと、ホースを整理している隊員の意思疎通が不足していた。また、ドラムシーブローラーを収納しているボックスと地面の間に金具が挟まるという構造の危険認識が不足していた。さらに、訓練終了後で気持ち的に油断があったものと思われる。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。)
------------------	------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和5年8月2日 午前11時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：消防用ホースハンガーリフト
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	激突
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[火災]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：訓練終了後、消防用ホースハンガーリフト使用時
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[48]歳、勤続年数[24]年、現場経験年数[24] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[29]歳、勤続年数[10]年、現場経験年数[10] 年、階級[消防副士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	コントローラーを使用し、ホースハンガーリフトに吊るされているホースを上昇させた	
経過2	当事者B	ホースの上昇に伴い、ホースが絡まないように整理していた	
経過3	当事者B	ボックスと地面の間に挟まった金具が地面から跳ね上がり右示指に接触し受傷	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった 周囲の視界が確保できていなかった 他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

日常から使用している機材であり、注意力の欠如があった。

○装備・資機材の対策について

金具が挟まる可能性のある箇所の空間をなくした。 ※別添3

○活動環境の対策について

コントローラーを操作する人、ホースを整理する人のほかに全体を見渡す安全管理員を可能な場合は配置することにした。

○指揮・情報伝達の対策について

ホースを上昇させる場合にコントローラーからは死角になる場所があるため、ホースの上昇を頻繁に停止し隊員との意思疎通を今まで以上に図る。



